

こつころ つなぐ

2020年
秋

こつころつなぐ・13
(介護付有料老人ホーム もみの樹情報誌 通巻13号)
2020年10月発行

町 亞聖さんコラム

「働いて妻を楽にしてあげたい…」
全国に認知症でも働くデイサービスを

もみの樹 かかりつけ医から皆さんへ

感動プロジェクト 認知症ケア

スタッフの専門性を高めて、より良い認知症ケアを。

もみの樹・杉並「フロア主任座談会」

感動プロジェクト オンリーワン

「百合をお供えしたい」想いを汲み取り、お墓参りへ。

もみの樹・杉並 お食事紹介

各館の取り組み もみの樹・渋谷本町の紹介

大深沢橋

宮城県の栗駒国定公園に位置し、奥州三名湯の一つとして名高い鳴子温泉峡の深い渓谷にかかり、長さ約100mの美しいアーチを誇る。岩肌に生える木々が色づく紅葉の季節には、その景観美で多くの訪れる人の胸を打つ。

「こころつなぐ」

人と地域、そして心豊かな暮らしへの架け橋を築く
大和ハウスライフサポート。
そこには、ご入居者やそのご家族の
さまざまな夢や願いの実現をお手伝いしたいとの
想いが込められています。



0120-07-4165

受付時間:午前9時~午後5時

もみの樹

検索



介護付有料老人ホーム
もみの樹・練馬
東京都練馬区



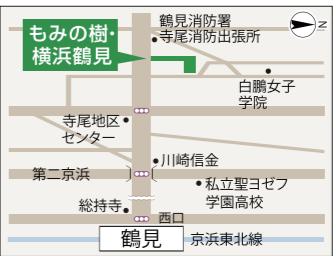
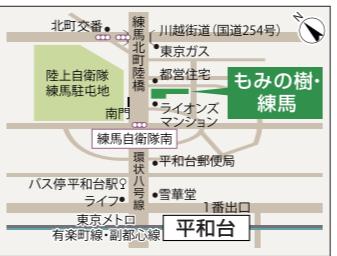
介護付有料老人ホーム
もみの樹・杉並
東京都杉並区



介護付有料老人ホーム
もみの樹・横浜鶴見
神奈川県横浜市鶴見区



介護付有料老人ホーム
もみの樹・渋谷本町
東京都渋谷区



大和ハウスライフサポート株式会社

東京都港区三田3丁目1番7号 三田東宝ビル6階 ☎03-3456-4165(代表) Fax 03-3456-4175



Daiwa Life Support®
大和ハウスグループ

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2020 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. All rights reserved.

We Build ECO | 森林育成紙™使用



町 亞聖さん

1995年に日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、報道キャスターとしてがん医療、医療事故、難病などの医療問題や介護問題などを取材。2011年にフリーに転身。脳障がいの母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫から出版。医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動を続ける。

町 亞聖公式ブログ「As I am」 <http://ameblo.jp/machi-asei/>

出演番組

☆ラジオ日本 毎週木・金曜日あさ6時30分~8時50分まで生放送
「スマートNEWS」

☆ニッポン放送 每週日曜日あさ6時25分~6時54分
「ウイークリーエンタメ」

☆文化放送 毎週土曜日あさ5時35分~5時50分
「みんなにエール」

スポーツを応援する「みんなにエール」

役割を果たしたいという当事者の想いが無視されているのはおかしいと感じた前田さんは、粘り強く厚生労働省に働きかけ5年の歳月をかけ実現させました。

「金額ではなく自分で働いて給料がもらえるのは嬉しい」と『DAYS BLG!』のメンバーさん。仕事は自動車販売店に展示されている車の洗車や玉ねぎの皮むきなど

様々。はじめは車を傷付けてしまうのではと心配されたそうですが、洗車の手順を工夫したり問題は全く起きてないそうです。玉ねぎの皮むきでは「BLG玉ねぎ」というブランドで大人気になり、注文が増えているらしい誤算も。

「働いて妻を楽にしてあげたい・・・」 全国に認知症でも働くデイサービスを

column Vol.9
町 亞聖さん

介護の経験を基にした「伝えたい」を
こころつなぐで連載いたします。

「働いて妻を楽にしてあげたい・・・」これは今から16年前に日本で開催されたアルツハイマーの国際会議で日本で初めて実名を公表してスピーチした若年性認知症の越智俊一さん(故人)の言葉です。越智さんの言葉がきっかけとなり家族支援だけでなく、当事者の声を反映したサポートでも力が入れられるようになりました。「認知症になつても働き続けたい」と思っている人は沢山います。そんな認知症の人のために働く機会をつくるデイサービス『DAYS BLG!』を2012年に町田

市に立ち上げたのが前田隆行さんです。「仕事をしたら報酬を得る」というのは社会の常識のはずですが、認知症の人が働くデイサービス設立までの道のりは平坦ではありませんでした。厚生労働省によるとはありませんでした。厚生労働省によると労働の対価として認知症の人が謝礼を受け取る事は認められていないこと。理由は介護保険制度の被保険者が働いて収入を得るのはおかしいからということ。認知症の人が働けるはずがない、そんな思い込みや決め付けが可能性を奪っていたのです。認知症でも働くことで社会と繋がり

現実です。ここで諦めないのが前田さん!全国に働くデイサービスを10カ所つくることを目標に「100BLG」構想を立ち上げ現在8カ所で活動がスタート。認知症になつても1人の「生活者」として地域の中で普通に暮らしつづけたい、そんな当たり前の希望を叶えてくれる『DAYS BLG!』を貴方の街に作ってみませんか。



DAYS BLG! のメンバーのみなさんと

かかりつけ医から皆さんへ もみの樹



島田 潔

医療法人社団 平成医会 理事長

『生活の場に医療を届けよう!』と思い立ち、平成8年から往診を行なっています。当時は訪問看護や介護タクシーが普及していない時代で、自宅にいる高齢者が医療から取り残されつありました。介護保険制度がはじまる4年前のことです。

「もみの樹・練馬」は、2002年にオープンした地域でも歴史ある老人ホームです。自宅での介護が必要な入居者も生活しています。親しくしていた地元の開業医から「365日の対応が個人開業医では難しくなってきた」とご相談を頂き、当院が協力医療機関になりました。また、「もみの樹・渋谷本町(2015年オープン)」も開設当初から担当しています。

私たちは、ご入居者とご家族の意向に添った医療の提供を心がけています。積極的な検査や治療を希望する方もいれば、検査や病院受診はなるべくせずに穏やかに館で過ごしたいと考えている方もあります。どちらが正しいか間違っているか

ご入居者とご家族の気持ちを大切にした医療の提供を。

『生活の場に医療を届けよう!』と思い立ち、平成8年から往診を行なっています。当時は訪問看護や介護タクシーが普及していない時代で、自宅にいる高齢者が医療から取り残されつありました。介護保険制度がはじまる4年前のことです。

「もみの樹・練馬」は、2002年にオープンした地域でも歴史ある老人ホームです。自宅での介護が必要な入居者も生活しています。親しくしていた地元の開業医から「365日の対応が個人開業医では難しくなってきた」とご相談を頂き、当院が協力医療機関になりました。また、「もみの樹・渋谷本町(2015年オープン)」も開設当初から担当しています。

私たちは、ご入居者とご家族の意向に添った医療の提供を心がけています。積極的な検査や治療を希望する方もいれば、検査や病院受診はなるべくせずに穏やかに館で過ごしたいと考えている方もあります。どちらが正しいか間違っているか

病院での検査や治療を希望される場合は、今までのかかりつけ病院への受診を最優先にしてい

ます。かかりつけ病院がない場合や救急受診の際に受け入れ病院が見つからない場合は、当院で病院を探すお手伝いをすることがあります。

受診の際は必ず診療情報提供書(紹介状)を用意して、今までの経緯や医療に対する希望などでお困りがないようにしています。

「もみの樹」での生活が穏やかで温かな時間となるように、引き続き医療面からサポートいたします。



島田

潔

51歳 昭和43年生まれ

医療法人社団 平成医会 理事長

帝京大学医学部 卒業後、東京大学医学部第四内科に入局。
1996年に板橋区役所前診療所を開設、2006年に国が制度化した
「在宅療養支援診療所」の名称と認可要件の考案者である。
現在、在宅医療政治連盟 会長、全国国民年金基金 理事、厚生労働省「オンライン診療有識者会議」構成員を務める。

感動。プロジェクト 認知症ケア

大和ハウスライフサポート「D'sケアの基本理念」
認知症ケア

- 一、その方を知ります。
その方のお話をじっくり聞く。その方の人生、今の思いを知る。
- 二、ありのままを受け入れます。
その方の世界観を否定せず共感する。その方を言葉で遮らない。
- 三、共に笑顔になります。
その方に寄り添う。その方の不安を取り除き、共に笑顔になる。

スタッフの専門性を高めて、より良い認知症ケアを。

◆認知症プロジェクトの活動

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれており、今後有料老人ホームの役割は「層高まっていくと考えられます。

私たちはご入居者に「笑顔になつていただく認知症ケア」、スタッフにとって「やり甲斐のある認知症ケア」を目指し、お一人おひとりのご事情や要介護度に合わせて、尊厳を守りながら認知症ケアをご提供できる体制を整えています。

弊社では社内で統一した認知症ケアを提供するために、社内認定制度(D'sケア)を創設し、行動基準を明確化。OJTを通して人材育成も推進しています。2020年8月現在、基礎編認定者は18名となりました。各スタッフの知識やスキルが向上し、現場でも大いに活かされています。

◆資格取得を積極的にサポート

介護される立場を理解し、適切な認知症介護を実現するためにも、より専門性の高い知識とスキルを求められる資格の取得は有意義です。

現在全館において「認知症介護実践者研修」や「認知症介護実践リーダー研修」の受講を勧奨しており、今年からは「認知症ケア専門士」の資格取得も勧めています。あわせて受験対策勉強会や外部講師を招いた講習会も積極的に実施。今年は新型コロナウイルス感染症



リモートでの勉強会(本社より)

対策として、講師を本社に招き各館でリモート講習会を開いています。

介護現場で働く介護職員が対象の研修。認知症の人の自立した生活を支援するための実践的な知識・技術を学ぶ。

◆各館の取り組みを情報共有

認知症ケアの場合は、暴力や暴言、食事拒否や入浴拒否などによって、介助が困難になります。そこで私たちには、現場で効果的なケアを提供できるよう、各館による認知症ケアの取り組み内容をまとめ、全社で共有しています。



全館でリモート事例総括会を行っています

◆研究成果を社外へも発信

さらに、毎年各館が研究した事例の中から、社内外の審査員によって選出された上位2館の事例を『公益社団法人 全国有料老人ホーム協会』主催の「東日本事例発表研修会」に応募しています。今年は「東日本事例発表研修会」は中止になりましたが、研究成果は『一般社団法人 日本認知症ケア学会』で発表する予定です。

社外への事例報告は、私たちの認知症ケアが一定水準にあることを、より多くの皆様に知つていただける貴重な機会もあります。今後もスタッフのやり甲斐を高め、ご入居者に質の高いサービスをご提供できるよう努めています。

◆認知症ケア専門士」とは

認知症ケアに対する優れた学識と高度の技能や倫理観を備えた専門技術士を養成し、技術の向上と保健・福祉に貢献することを目的とした制度。

◆各館の取り組みを情報共有

認知症ケアの場合は、暴力や暴言、食事拒否や入浴拒否などによって、介助が困難になります。そこで私たちには、現場で効果的なケアを提供できるよう、各館による認知症ケアの取り組み内容をまとめ、全社で共有しています。

◆一般社団法人 日本認知症ケア学会」とは

認知症高齢者等のケアの質の向上、豊かな高齢社会の創造を目指し、社会啓発活動、学術集会の開催、認知症ケア専門士・上級専門士等の育成及び認定等を行っている。

もみの樹・杉並 「フロア主任座談会」

抜群のチームワークで諦めないケア＆看護を！

ご入居者を日常の生活面でケアする介護スタッフと

医療面で介助する看護スタッフ皆さんに、普段の業務やエピソードなど、

もみの樹・杉並ならではの活動内容についてお話を伺いました。

介護主任と看護副主任の皆さんは、
仲が良いそうですね？

【田辺】 日頃から声をかけ合って、ご入居者の情報交換やケアの相談をしています。

【石田】 勤務中も休憩中も仲の良さは抜群です。各主任が自分の担当フロアだけでなく、他のフロアも気にかけていて、ヘルプのスタッフを出し合っていますしね。

【塩田】 その場で質問や相談ができるので、看護ス



タッフが各フロア会議に参加してくれるのも有り難いです。

【安藤】 会議以外でも、自然に情報交換できる関係なんですよね。

【全員】 それがしやすい雰囲気もあるのですが、当館の雰囲気の良さは、やっぱり明るい館長の影響が大きいですよ！

その結束力はケアや看護の連携にも役立つついそうですね？

【石田】 普段からのコミュニケーションはもちろん、看護スタッフも私たちと同じケア目線で分け隔てなく、一緒に対応してくれるの助かっています。連帯感は強いと思いますよ。

【安藤】 ケアスタッフも率先して介助に入ってくれる

新人主任なので先輩主任の皆さんにアドバイスをもらいながら成長したいです。ご入居者の快適な生活のためにも、フロアスタッフの介護技術向上をサポートしていくつもりです。



1F 介護主任 **塩田 多喜**



2F 介護主任 **石田 雄一**

「ご入居者に絶対元気になつてもらいたい」という気持ちを持つてリハビリに力を入れています！ケアプラン作成を通じてもリハビリの重要性を積極的に発信していきたいです。

過ごしていただこうと、ギターを持参したことがありました。すると同じ日に3階の介護主任の田辺主任もギターを持ってきていたんです！急遽田辺主任とセッションしようということになつて、1階と3階で即席演奏会。事前準備なしの思いがけない催しでしたが、ご入居者も盛り上がりってくれて嬉しかつたですね。

【田辺】 娘様の結婚式に参列できなかつたご入居者の奥様から、写真だけでも撮りたいというご相談を受け、館のみんなで結婚式を手作りで再現したこともありますよ。各フロアのご入居者やスタッフに飾りを作つてもらつたり、物品を借りたりして、リビングをチャペル風に装飾。スタッフも正装して実際に新郎新婦を迎え、私は牧師の格好で誓いの言葉を問い合わせました。写真撮影だけでなく、素敵なお出作りのお手伝いができ、私たちも幸せになりました。



館での結婚式の様子

3F 介護主任 **田辺 岳**

フロアスタッフには認知症ケアの知識や技術を重ね、資格取得にも挑んでほしいです。課題は多いですが、ご入居者同士も助け合えるような、真心あふれる環境を目指しています。

看護
看護副主任
安藤 静那

これから取り組みたいことはありますか？

【全員】 全フロアを動ける日勤フリーの業務スタッフを増やしたいです。全フロアでの経験があれば、欠勤者が出てすぐに対応できます。トータルで把握している人が増えれば、館全体がスムーズに機能し、情報共有にも効果的。さらなるケアの充実にもつながっていますね。

【塩田】 新型コロナウイルスの影響でイベント自粛が続いているので、ご入居者に少しでも楽しい時間を

イベントなどにも活かされていますか？

【塩田】 そうですね。当館にご入居されると皆さん元気になりますね。ADL（日常生活動作）は絶対に上がっていると思います。ご入居者が元気になると、スタッフのモチベーションも上がるんですよ！

【塩田】 皆さんのチームワークは、

【塩田】 ご入居者を日常の生活面でケアする介護スタッフと医療面で介助する看護スタッフの皆さんに、普段の業務やエピソードなど、もみの樹・杉並ならではの活動内容についてお話を伺いました。

感動プロジェクト

オンリーワン

プロファイル S様（85歳）要介護5

「百合をお供えしたい」

想いを汲み取り、お墓参りへ。

体調と心を見守り、最良のサービスを模索。

自力での食事摂取が難しく、体調も芳しくないS様に「少しでも喜んでいただけることをしたい」という想いを抱きながら、注意深くお世話を続けていました。S様には認知症の症状がありましたが、館にご入居される前の事もよく覚えていらっしゃり、アルバムを眺め涙することも。なかでも在職していた学校法人の園長のお墓参りの際に撮った写真を大切にされていたので「久しぶりにお墓参りに行きますか?」と尋ねると「ありがとうございます」と涙を流されました。

多くの協力を得て準備。元同僚とも対面へ。

S様が勤めていた学園関係各所に電話をしたところ、元同僚のY様と連絡が取れ、お墓参りに同行してくださいされることに。S様は涙を流し喜ばれています。ご友人との対面が叶うという、思いがけない幸運にスタッフにも笑顔があふれました。

その後は、リクライニング車椅子の用意、介護タクシーの予約、S様がお供えしたがっていた百合の花の注文など、準備を進めました。医師から中止を促されたあと、一転許可がおりたり、紆余曲折もありましたが、多くの人の熱意と協力があつたからこそ、実行日を迎えることができました。



体調を整え笑顔で出発!

念願のお墓参りで、笑顔も元気もいっぱいに。

待ちに待った当日、靈園でY様と感動の対面を果たすと、涙と笑顔で懐かしい昔話をご満喫。歩行困難なS様が墓前に立ちお参りされる姿も感慨深いものがありました。

S様はお墓参りの後、必ず外食をさせていたので、どこかに寄ることはできないか検討しましたが、この

S様の体調不安や中止の危機などを乗り越え、プロジェクトを実行できたのは、

さうした皆様のおかげだと心から感謝しています。

次回は、遠方にお住まいの甥御様が面会に来られた際、一緒に楽しい時間を過ごしていただけるようご支援していきたいと思っています。



もみの樹・横浜鶴見
鈴木田 幸子

時期に人混みに連れ出されるのは危険と判断。せめてS様が好きなプリンを購入したいとタクシーの運転手に相談すると、S様の負担にならないよう混雑ルートを避け、帰館途中にあるお店に立ち寄ることを提案していただきました。帰館後、S様は大きなプリンを完食。いつも以上の食欲に、スタッフ一同嬉しい驚きを覚えました。



車椅子から立ち上がりお参りするS様。

秘められた想いを受け止め、計画始動。

ところが、食事を摂取される量が減少し、栄養補助食品のみの生活が約2ヵ月続きました。それにより、体力低下や歩行困難が懸念されるS様のご様子に「外出は厳しいのでは?」との意見も挙がりました。そこでS様を見守りつつ、スタッフ間で話し合いを続けた結果、『S様の「行きたい」という想いがこもった「ありがとうございます」の言葉と涙を受け止めよう』『しっかりと準備をして行かせてあげよう』と一致団結。プロジェクトがスタートしました。

感動プロジェクト
「オンリーワン」とは

いくつになっても自分らしく生きることの大切にしてほしい、という願いから企画されました。ご入居者が人生でやり残したことや、諦めてしまっていることとのお手伝いをさせていただき、その人らしさを取り戻す機会を提供しています。ご入居者が夢を実現した達成感、達成に至るまでの目標を持った充実した生活を送っていただけのプロジェクトです。

各館の取り組み



もみの樹・渋谷本町の紹介

日ごろから、館内でのアクティビティとして、絵を描いたり、お習字などにも取り組んでおります。今年からコロナウィルスの影響等で外出の回数も減っており、館内でのアクティビティの更なる充実を図っています。

ご高齢者の認知症予防に、指先を使ったり、色を見たりすることが良いと言われていますが、人と人が集まり、交流しながら取り組んだり、楽しく日々を過ごすことがフレイル予防にもつながります。

新型コロナウィルス感染症対策を徹底しながら、今できることを創意と工夫を重ねながら、館一体となって進めてまいります。



「ちぎってアート」

「彩り油絵」のマスキングテープを使って、まるで油絵のような仕上がりに、大好評でした。



「粘土細工アクリビティ」

お好きな色を選びいただき、色違いのかわいいマイパンダができました!



「ちぎってアート」第二弾

好評につき、今回は夏の元気になる花「ひまわり」を描きました。みなさまのレベルもアップ!



「アロマ石鹼作り」

スタッフのアロマ検定資格者のスキルを活かし、精油を使った癒しの石鹼ができました。

今後も、ご入居者のみなさまが楽しんで参加いただける
アクティビティを企画してまいります。

もみの樹・杉並 お食事紹介

充実したメニュー展開で 食を楽しむ喜びを。

私たちは日々のお食事を通して、健康的な暮らしと、食を楽しむ喜びをご提供できるよう心がけています。今回は、「もみの樹・杉並」のお食事サービスについてご紹介いたします。

ご入居者には様々な介護度や疾患をお持ちの方がいらっしゃいます。たとえば、嚥下・咀嚼機能が低下している方には、きざみ・ペースト・ろみ・ソフト食など、一人ひとりに対応した調理方法を選択。同時に彩りや盛り付けにもこだわり、常食に近い味や見た目にするよう工夫しています。

また、おいしさや食べやすさだけでなく、笑顔で楽しめるメニュー開発や環境作りも大切にしています。月一度開催のいつもより少しリッチな「なごみランチ」や、好みで選べるオムライスやラーメンなどのセレクトメニュー、イベント形式のバイキングメニューなど、数々の趣向を凝らしたメニューをご用意。おせち、お花見、七夕、秋分、紅葉狩り、クリスマスなど、季節感あふれる行事食も取り入れ、より豊かな食生活をお届けできるよう努めています。

「やさい831の日フェア」行事食

朝 [和食]	朝 [洋食]
御飯・黒豚しゃぶしゃぶ・茶碗蒸し・南瓜の含め煮 ・德拉ウエア、メロン・みそ汁・初雁(おやつ)	御飯・サワラの西京焼き・磯納豆 ・漬物・みそ汁・牛乳
夜	朝 [洋食]
御飯・黄金カレイの煮付け・かき揚げ ・わかめと春雨の和え物・すまし汁	レーズンロール・ジャム・お魚ウインナーと青菜のソテー ・ビーンズサラダ・コンソメスープ・牛乳

ある日のメニュー



もみの樹・杉並 館長
長野 賢志

*2020年8月31日撮影

～ Webアンケートご協力のお願い～

日頃より「こころつなぐ」をお読みいただきありがとうございます。皆様からお寄せいただくご意見・ご感想は真摯に受け止め、各館運営の参考にさせていただいております。

この度は、今後の更なるサービス向上を目指し、Webアンケートを実施することとなりました。つきましては、下記のURLまたは二次元コードからアクセスのうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケートにお答えいただいた方には、「携帯用消毒ジェル」を進呈いたします。

お客様の個人情報およびご意見は、弊社の個人情報保護方針に従って取扱い、サービスの向上とイベント等のご案内メール以外には使用いたしませんので、ご安心ください。

今後ともご支援・ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

【アンケート受付期限：2021年1月31日(日)】

<https://www.dhls.jp/survey/>



速乾性アルコールジェル

内容:60ml

(クロルヘキシジングルコン酸塩、
エタノール)